

～ 新図書館を考える 市民ワークショップ ～

令和7年1月25日（土）に第1回「新図書館を考える市民ワークショップ」を開催し、中学生から大人まで、総勢16名の方にご参加いただきました。

今回のテーマは「みんなで考えよう、新図書館の使いこなし」

はじめに具体的な施設の設計内容等を説明後、グループワークを行い、各グループで話し合った内容を発表いただきました。

各グループで出た意見等について、以下に要約しましたのでご覧ください。

日時 令和7年1月25日（土） 10:00～12:00

場所 市民センター2階講座室

テーマ みんなで考えよう、新図書館の使いこなし

参加者 Aグループ 5名

Bグループ 5名

Cグループ 6名

内容 新図書館が開館することにより、やりたいこと、やってもらいたいことを各グループで意見を出し合い、発表を行いました。



Aグループ

キーワード：活用性、親しみやすさ、郷土資料の充実

1. 1階の活用性

- イベント企画：美味しいもの、音楽イベント、映画上映などで来館者を増加。
- 海のロケーション活用：シーカヤック、サイクリングを通じた親子向けアクティビティ。
- 無駄のない空間利用：展示やイベントで活気ある図書館を目指す。

2. 2階の市民参加

- 意見の反映：意見箱や講座で市民参加型の運営を推進。
- 郷土文化の保存：備前焼や地元作家の資料を充実。

3. 周辺環境と居場所づくり

- 駐車場整備：景観を保ちながら広い駐車場を確保。
 - リラックス空間：快適な椅子や多用途スペースを提供。
 - 誰でも利用可能な図書館：本嫌いな人でも足を運びやすい環境づくり。
-

B グループ

キーワード: 夢、学び、広報

1. 夢を広げる空間

- 3D プリンターの導入: 備前焼やオリジナルTシャツ製作。
- 芸術支援: ギャラリー展示で新進アーティストを発掘。
- イベント活用: 季節ごとのコンサートや上映会を開催。

2. 学びの場

- 学習講座: 読書感想文講座、知育教室、外国語学習スペース。
- 市民の趣味を深める場: 趣味教室や市民参加型プログラムを提案。

3. 情報発信と連携

- SNS 活用: 地元行事と連携したイベントの広報を重視。
 - 多世代交流: 子どもから大人まで参加できる学びの場を整備。
-

C グループ

キーワード: 回遊性、効率化、多世代の居場所、マルシェ

1. 回遊性とアクセス

- 駐車場の充実: 300 台以上の駐車場確保や巡回バス導入でアクセス向上。
- 交通渋滞対策: イベント時の混雑を考慮した道路整備。

2. 運営の効率化

- セルフ貸出システム: スタッフの負担軽減と利便性向上。
- 見守りボランティア: 親子連れが安心して利用できる環境を整備。

3. 多世代が集える居場所

- カフェスペースの最適化: 利便性を高めるため中央配置を提案。
- ワークショップ: 自由研究や夜ヨガなど多彩なプログラムを展開。
- 市民参加型運営: 地域のキーマンを定期的に招き、意見交換を継続。

4. マルシェとイベント

- マルシェの開催: 地域の人々が集まる活気あるイベントとしてのマルシェを提案。
 - 運営上の課題: 来場者の利便性を高めるため駐車場やアクセス整備を重視。
 - イベントの波及効果: 図書館を拠点に、地域経済や交流を活性化。
-

共通するキーワードと提案

- 市民参加: 各グループが市民の声を反映する図書館運営を提案。
- イベントと交流: 多彩なイベントや居場所づくりで世代間交流を促進。
- 学びの提供: 子どもから大人まで学べる講座や体験を重視。
- アクセスと回遊性: 駐車場や交通手段を整備し、利便性を向上。